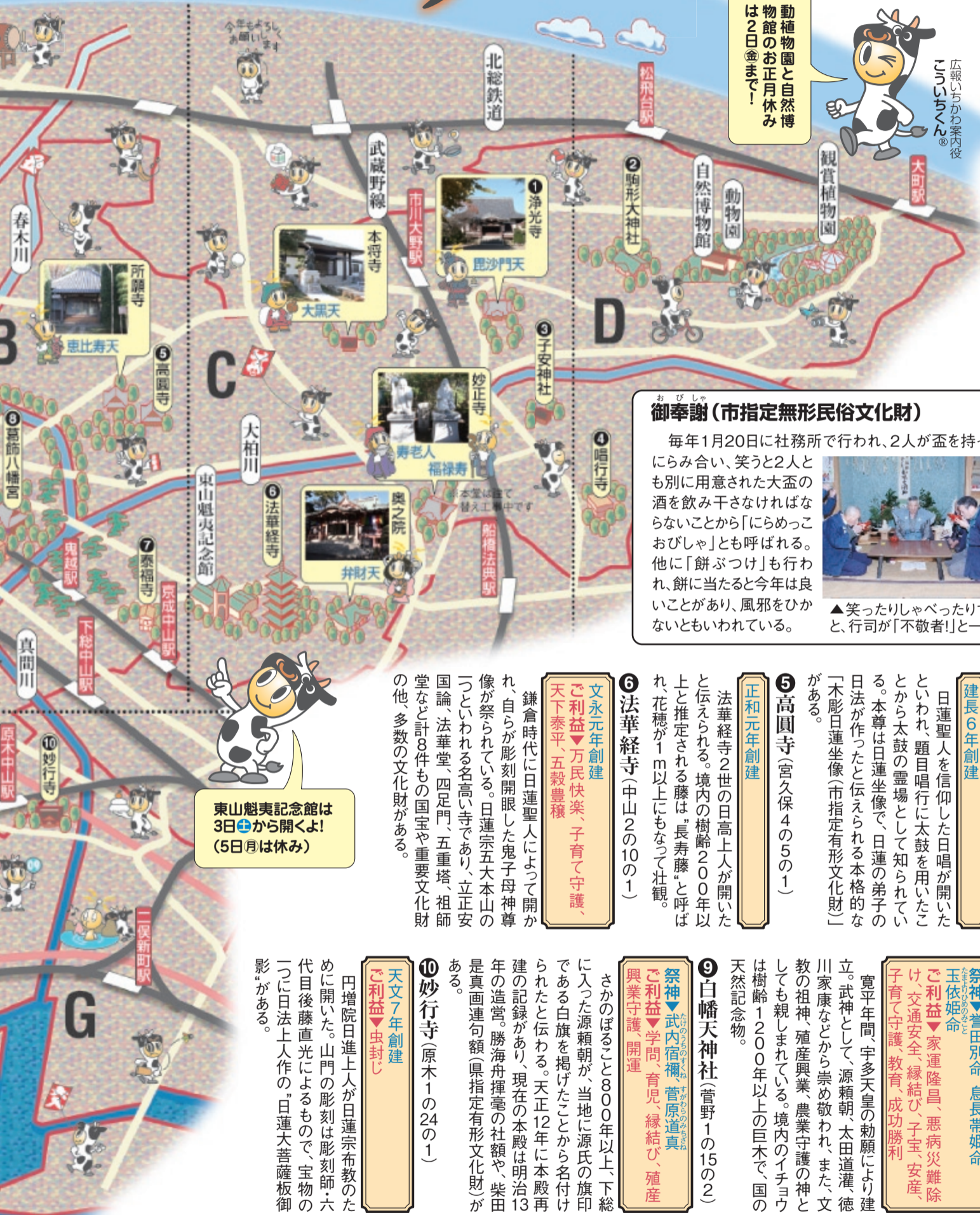


初詣マップ

お正月の恒例行事となっている初詣。市内には、江戸時代に「行徳千軒、寺百軒」といわれた行徳を中心に、由緒あるお寺や神社がたくさんあり、さまざまな霊験が伝えられています。新しい年の願い事とご利益がぴったり合うお寺や神社を探しながら、私たちの街の歴史散策を楽しんでみてはいかがでしょうか。



1 浄光寺(大野町3の1917)
 鎌倉時代の仏師・運慶が、母の菩提を弔うために像を彫っていたところ、誤って乳をそぎ落としてしまったという「乳なし三王像(市指定有形文化財)」がある。安産の守りにせよという母のお告げによって完成させたその像は、乳の出の少ない人々の信仰を集めた。

2 駒形大神社(天野町4の2757)
 祭神▼経津主命、平将門合祀
 ご利益▼出世、開運招福、諸災厄除け、延命長寿、夫婦利合、安産、交通安全など
 社殿の裏に、怒りの表情が強いほど人を救う力が大きいといわれている馬頭観音が32基あり、一番大きいものも最も古く、文政3年造立。

御奉謝(市指定無形民俗文化財)

毎年1月20日に社務所で行われ、2人が盃を持ってにらみ合い、笑うと2人とも別に用意された大盃の酒を飲み干さなければならないことから「にらめっこおびしゃ」とも呼ばれる。他に「餅ぶつけ」も行われ、餅に当たると今年が良いことがあり、風邪をひかないともいわれている。



▲笑ったりしゃべったりすると、行司が「不敬者!」と一喝

3 子安神社(柏井町3の654)
 祭神▼木花咲耶姫命
 ご利益▼子授け、安産
 平安時代に中国から伝わった庚申信仰にかかり、江戸時代に盛んに建てられた庚申塔。碑のように板状のものが多いなか、五重塔をかたどった「庚申五層塔(市指定有形文化財)」は全国的にも珍しく、千葉県内では唯一。

4 唱行寺(柏井町1の1696)
 建長6年創建

日蓮聖人を信仰した日唱が開いたといわれ、題目唱行に太鼓を用いたことから太鼓の霊場として知られている。本尊は日蓮坐像で、日蓮の弟子の日法が作ったと伝えられる本格的な「木彫日蓮坐像(市指定有形文化財)」がある。

5 高圓寺(宮久保4の5の1)
 正和元年創建

法華経2世の日高上人が開いたと伝えられる。境内の樹齢200年以上と推定される藤は「長寿藤」と呼ばれ、花穂が1m以上にもなると壮観。

6 法華経寺(中山2の10の1)
 文永元年創建
 ご利益▼万民快樂、子育て守護、天下泰平、五穀豊穡

鎌倉時代に日蓮聖人によって開かれ、自らが彫刻開眼した鬼子母神尊像が祭られている。日蓮宗大本山の一つといわれる名高い寺であり、立正安国論、法華堂、四足門、五重塔、祖師堂など計8件もの国宝や重要文化財の他、多数の文化財がある。

7 泰福寺(高石神21の9)
 弘安2年創建

天台宗浅草寺の僧であった日寂が、日蓮宗に改宗して開いたと伝えられる。本堂手前の左側に、日寂のために法華経3世の日祐上人が自ら書いて建てた供養塔「板碑(市指定有形文化財)」がある。

8 葛飾八幡宮(八幡4の2の1)
 祭神▼菅田別命、息長帯姫命、玉依姫命
 ご利益▼家運隆昌、悪病災難除け、交通安全、縁結び、子宝、安産、子育て守護、教育、成功勝利

寛平年間、宇多天皇の勅願により建立。武神として、源頼朝、太田道灌、徳川家康などから崇め敬われ、また、文教の祖神、殖産興業、農業守護の神としても親しまれている。境内のイチヨウは樹齢1200年以上の巨木で、国の天然記念物。

9 白幡天神社(菅野1の15の2)
 祭神▼武内宿禰、菅原道真
 ご利益▼学問、育児、縁結び、殖産興業守護、開運

さかのぼること800年以上、下総に入った源頼朝が、当地に源氏の旗印である白旗を掲げたことから名付けられたと伝わる。天正12年に本殿再建の記録があり、現在の本殿は明治13年の造営。勝海舟揮毫の社額や、柴田是真画連句額(県指定有形文化財)がある。

10 妙行寺(原木1の24の1)
 天文7年創建
 ご利益▼虫封じ

円増院日進上人が日蓮宗布教のために開いた。山門の彫刻は彫刻師・六代目後藤直光によるもので、宝物の一つに日法上人作の「日蓮大菩薩板御影」がある。

東山魁夷記念館は3日(土)から開くよ!
 (5日月は休み)

市七福神

毘沙門天
 七難即僕・戦勝の神

● 国分寺(国分3の20の1)
 ● 浄光寺(大野町3の1917)

恵比寿天
 商売繁盛・家内安全・農業・漁業の神

● 所願寺(宮久保4の12の3)

弁財天
 芸術・芸能・音楽・水の神

● 奥之院(若宮2の21の1)

大黒天
 商売繁盛・福徳円満・田の神

● 本将寺(大野町2の919の1)

福祿寿
 幸福・財産・長寿の神

● 妙正寺(北方町4の2122)

寿老人
 健康・長寿・平和の神

● 安養寺(高谷2の16の35)

布袋尊
 家族安泰・平和・商売繁盛の神

● 安養寺(高谷2の16の35)

いちかわ

10 伊弉諾神社(堀之内4の26)
 祭神▼伊弉諾命
 ご利益▼良縁、夫婦円満
 かつては権現さまと呼ばれた地域の氏神であったが、明治の初め頃の神仏分離で祭神が伊弉諾命となって改名。境内に高くそびえるハリギリは県内最大級で、市指定天然記念物。

11 愛宕神社(北国分1の12の24)
 祭神▼軻遇突智命
 ご利益▼金運、招福、縁結び、夫婦和合、防火
 参道の入口の左右に、1.7mほどの狭い間隔で2本並ぶ大イチョウは、市指定天然記念物。樹齢350年前後と考えられ、北側にある樹の幹の西側部分に、30年以上前の落雷でえぐられた跡がある。

12 総寧寺(国府台3の10の1)
 曹洞宗関東僧録寺の一つ。境内に、下総国関宿城主であった小笠原政信と妻の2基の五輪塔「小笠原政信夫妻供養塔(市指定有形文化財)」がある。五輪塔としては、関東では鎌倉の忍性墓に次ぐ大きさ。

13 国府台大満宮(国府台3の11の9)
 祭神▼菅原道真
 ご利益▼学業成就、受験合格
 文明11年に太田道灌持資が鎮守として建立。かつては法皇塚古墳にあり、明治8年の大学建設に伴い現在地に移転。

14 国分寺(国分3の20の1)
 天平13年創建の下総国分寺跡
 政治や社会の不安を取り除こうとした聖武天皇が、「国分寺建立の詔」を発したことから建立された宮寺で、僧寺と尼寺があった。現在の国分寺の境内は僧寺の中心にあり、金堂や塔、講堂の跡や、当時の礎石が残っている。国分寺の本尊は薬師如来。

15 手児奈霊神堂(真間4の5の21)
 寛永12年創建
 ご利益▼良縁成就、孝子受胎、無事安産、健児育成
 自分に恋いこがれる多くの男性が争うのに心を痛め、真間の入り江に身を投げてしまった手児奈。万葉集にも歌われたその美しく心やさしい娘を祭るため、墓の跡と伝えられる辺りに現在のお堂を建立。

16 弘法寺(真間4の9の1)
 天平9年創建
 ご利益▼福再来
 行基菩薩が求法寺として建立し、約100年後に弘法大師が弘法寺に改名したといわれている。明治21年の火災で焼失し、現在の諸堂は改修されたもの。境内の参道には、約3千本の桜があり、祖师堂横のしだれ桜は「伏姫桜」と呼ばれる樹齢400年の大樹。

17 徳願寺(本行徳5の22)
 慶長15年創建
 埼玉県鴻巣市にある勝願寺の末寺で普光院と呼ばれていたが、徳川家康が信仰したことから、徳川の徳と勝願寺の願をとって慶長15年に「徳願寺」と改名。鎌倉時代の初め、北条政子が仏師・運慶に彫らせたといわれる本尊の阿彌陀如来像は、政子の念持仏といわれている。「山門」「鐘楼」「経蔵」は市指定有形文化財。

18 妙好寺(妙典1の11の10)
 永禄8年創建
 戦国時代、千葉氏一族の篠田雅楽助清久が創建し、中山法華経寺の日宣上人を迎えて開いた。木造切妻茅葺の四脚門で、全体に弁柄塗が施されている「妙好寺山門(市指定有形文化財)」が、江戸中期の特色を示している。

19 妙心寺(本行徳2の18)
 永禄2年創建
 日忍上人によって開かれ、境内には七福神が祭られている。

20 法善寺(本塩1の25)
 慶長5年創建
 関西から行徳にきた宗玄和尚(河本弥左衛門)が開いた。弥左衛門が、海岸や荒地を開拓して塩田を作り、塩焼の製法を里人に教えたことから、行徳塩の発祥地として「塩場寺(しょばでら)」とも呼ばれた。本堂の前には、寛政9年に芭蕉の百回忌を記念し、行徳の俳人・戸田麦丈などが建てた句碑がある。

21 日枝神社(相之川1の2の19)
 祭神▼大山咋神
 ご利益▼厄よけ、開運、安産、育児、学業成就、交通安全、工場安全
 万治2年に相之川の里の鎮守として創建され、宝暦7年の再建を経て、明治6年に改築。

22 妙覚寺(本行徳15の20)
 天正14年創建
 日通上人が開いた。中山法華経寺の末寺で、本尊は日蓮上人。房総で唯一のキリシタン灯籠がある。

23 法伝寺(湊7の1)
 天文22年創建
 観音上人が創建。法然上人が開いた浄土宗大本山増上寺(徳川家の菩提寺)の末寺で、本尊は阿彌陀如来。

24 善照寺(湊18の20)
 寛永2年創建
 覺譽潮随上人によって開かれ、本尊は阿彌陀如来。法然上人が鏡に映して造ったとされている秘仏の鑑御影を、年に二度だけ1月17日に公開。

国府台辻切り(市指定無形民俗文化財)

毎年1月17日に境内で行われる災難よけの風習。わらで作った2mの大蛇4体にお神酒を飲ませて魂入れをし、町の四隅にある木に結びつけて悪霊や悪疫の侵入を遮断。



▲大きな目でしっかり監視

文明11年に太田道灌持資が鎮守として建立。かつては法皇塚古墳にあり、明治8年の大学建設に伴い現在地に移転。

政治や社会の不安を取り除こうとした聖武天皇が、「国分寺建立の詔」を発したことから建立された宮寺で、僧寺と尼寺があった。現在の国分寺の境内は僧寺の中心にあり、金堂や塔、講堂の跡や、当時の礎石が残っている。国分寺の本尊は薬師如来。

自分に恋いこがれる多くの男性が争うのに心を痛め、真間の入り江に身を投げてしまった手児奈。万葉集にも歌われたその美しく心やさしい娘を祭るため、墓の跡と伝えられる辺りに現在のお堂を建立。

埼玉県鴻巣市にある勝願寺の末寺で普光院と呼ばれていたが、徳川家康が信仰したことから、徳川の徳と勝願寺の願をとって慶長15年に「徳願寺」と改名。鎌倉時代の初め、北条政子が仏師・運慶に彫らせたといわれる本尊の阿彌陀如来像は、政子の念持仏といわれている。「山門」「鐘楼」「経蔵」は市指定有形文化財。

戦国時代、千葉氏一族の篠田雅楽助清久が創建し、中山法華経寺の日宣上人を迎えて開いた。木造切妻茅葺の四脚門で、全体に弁柄塗が施されている「妙好寺山門(市指定有形文化財)」が、江戸中期の特色を示している。

日忍上人によって開かれ、境内には七福神が祭られている。

関西から行徳にきた宗玄和尚(河本弥左衛門)が開いた。弥左衛門が、海岸や荒地を開拓して塩田を作り、塩焼の製法を里人に教えたことから、行徳塩の発祥地として「塩場寺(しょばでら)」とも呼ばれた。本堂の前には、寛政9年に芭蕉の百回忌を記念し、行徳の俳人・戸田麦丈などが建てた句碑がある。

日通上人が開いた。中山法華経寺の末寺で、本尊は日蓮上人。房総で唯一のキリシタン灯籠がある。

観音上人が創建。法然上人が開いた浄土宗大本山増上寺(徳川家の菩提寺)の末寺で、本尊は阿彌陀如来。

覺譽潮随上人によって開かれ、本尊は阿彌陀如来。法然上人が鏡に映して造ったとされている秘仏の鑑御影を、年に二度だけ1月17日に公開。

万治2年に相之川の里の鎮守として創建され、宝暦7年の再建を経て、明治6年に改築。



急病診療所は三が日も受診できるよ。詳しくは6面です。

☆寺社の歴史には諸説ありますので、年号などは特定するものではありません。

三番瀬のノリ漁は真っ盛り！美味しいから食べてね

お年玉クイズ どこにいる？

「丑」と書かれた赤いたこをあげている「こういちくん」は、地図内の点線で区切ったA~Gのどこの区域にいるでしょう。



正解者のなかから抽選で、30人に「こういちくんバンダナ」、100人に「こういちくん付箋」を差し上げます。
応募方法 はがきに答えと広報いちかわの感想、氏名・年齢・郵便番号・住所・電話番号を書き、1月15日(木) 必着で広報担当「お年玉クイズ」係へ。